

兒童の劇演出

長尾豊

一

ひと口に劇と言っても職業演劇と素人演劇があり、職業演劇と言つても一から十まで營利本位で看客を迎へることに汲々としてゐるわけでもない。又素人演劇の中にも、お嬢さんが踊のお遊びに出たり、若旦那お道樂の素人芝居をしたりするやうなものばかりでなく、ほんたうの意味の娛樂劇とか、共同劇とかいふものがあるわけである。なぜそれが「ほんたうの意味」かと言へば、お道樂のお芝居が職業演劇の單なる模倣であり、引いては俳優その他劇場關係者の模倣に陥り易いのに反して、これは純然たる娛樂休養、もしくは共同精神の涵養とか、演出による戯曲の鑑賞とかいふ

確固たる目的の下に行はれなければならぬものだからである。職業演劇は少しも樂しむべきものではないが、その模倣は明らかに樂しむべき事であり、同様に俳優その他劇場關係者は少しも樂しむべきものではないが、その模倣は明らかに樂しむべき事である。

すると素人演劇といふものは、職業演劇とひとつであつてはならず、又或意味から言へばそれから遠ざかれば遠ざかるほど素人演劇としての眞價が發揮出來るとも言へる。かの藝術劇場や小劇場の運動は、職業演劇に對する藝術擁護の運動であると言はれてゐる。假にこれだけの事でも、學校劇や兒童劇の當事者が知つてゐて、しかもそれが

ほんたうに分つてゐたならば、その脚本から舞臺
服装、演技一切の點において、職業演劇の眞似は
出来なかつた筈である。

「幕がないから劇が出来ない。」と歎じた訓導もあ
れば、「終ひに並んで揃つてお辭儀をするのはおか
しいから、幕があつた方が好い。」と、物にも書い
た教育者もあつたさうである。もし假に引幕があ
つたとしても、講堂、教室、雨天體操場の何所に
どうその幕を釣るのであらうか。

二

幕がなければ、もしくは背景がなければ、芝居
らしくないとは、或人々の考へる所らしい。けれ
ども兒童の劇演出といふやうなものは、實はさう
いふ他からの借物によつて、強いて「芝居らしく」
見せる必要の少しもない物であり、又、幕がなけ
れば芝居でない、と見るならば、その芝居のない
所に生ずる純眞な劇的動作が、ほんとうの兒童演

出なのだとも言へる。

劇といふ所から、只職業演劇の、劇場の風に則
れば好いと思ふのは、劇を知らない人の當然陥る
所ではあらうが、これは又餘りに早急な劇への外
形的服従である。それよりもむしろ、原始劇から
表現派まで、未開人の演劇的動作にも兒童の劇的
模倣にも何所にも通じて流れてゐる、ほんたうに
劇的な内容とか、様式とかいふものを職業演劇の
中から見附けて來た方が好いと思はれる。「劇の事
が知り度くば劇場へ行け。」と言つた人がある。

一方においてかういふ芝居らしく見せようと努
める人があるかと思へば、一方にはまた劇的でも
ないものを劇であるかのやうに思つて平然として
ゐる人もある。どちらも間違ひである事に變りは
ない。

劇演出における服装の問題は、都會でも地方で
もしばしば論ぜられたやうであるが、幼兒の活動

とか、假想の精神とかいふものを無視して、本式に衣裳を着せたり、又は少しの服飾を削ぎ取り、それよりも少しの持物を捲ぎ取る事によつて、活動的な表現的な、児童演出になり得ると考へるやうな場合も、同様にあやまつてゐると思ふ。

どうして又背景や引幕や服装が、そんなにまで必要なのかと考へて見れば、ひとつにはそれが職業演劇の形式の模倣でもあるが、モウ少し考へて見ると、どうもそれは「見せる物」にしようとする所から、知らず／＼看客本位である職業演劇の精神にまで感染していくのではないかと思はれる。

三

演者の身心の發達を目的とする、演者本位の児童演出が、どうして職業演劇に似て來るかと言へば、演者自身進んでその模倣をする場合も、場所に依つてはあり得る事である。又輕卒な當事者がすべての範を其所に仰いで、もつて能事畢れりと

する事も少なくない。けれどもこれらの原因は、見せる物化しようとして、劇の本意を忘れる所に根ざしてゐると思はれる。此の場合、責を當事者にのみ負はせて、児童演出を見る人達が、いはゆる無理解な見物根性であることを擧げないのは、片手落ちであるかも知れない。併し、よく考へて見るとそれも責は當事者にある。當事者が演出の精神を明らかにして掛れば、さういふ間違つた考をもつ父兄學校關係者はなくなる筈である。けれどもその反對に父兄學校關係者の意を迎へてきて、児童演出を見せようとするならば、破綻百出物議を醸すのはむしろ當然過ぎる位當然の事である。

児童演出の理論や學説としての可否はとにかくかういふ實狀を見ると、児童をして舞臺に立たしめることの可否といふやうな問題が、これから先まだ／＼度々繰返されるだらうと思ふ。今まで見

童演出は、新奇を誇り、華美を喜ぶ人々の自己宣傳や自己陶醉の具に使はれてゐたやうでもあつた。それがまじめな教育的關心から出たものとは遺憾ながら受取れぬまでに、その脚本から舞臺演技一切の點において、少しの研究の跡も窺はれず用意の缺けてゐたやうな演出でもあつた。今日なほ學藝會や兒童大會などに、それが繰返されてゐるやうでもある。

見せる物でもない劇、遊戯としての兒童演出、それは流行によつて慌たゞしく研究されるものでも、又は平生投捨て、置いて、差迫つた期日に焦慮して一時を糊塗するものでもない。教育演劇の一科としての兒童演出は、これから徐ろに研究されるものと思ふ。

萌えいづる
草の芽見れば

この春の

土の香ひの
心地こそすれ

萌えいで、
やゝひろがれる

落の葉に

風ふきさきて
日ぬもす曇る